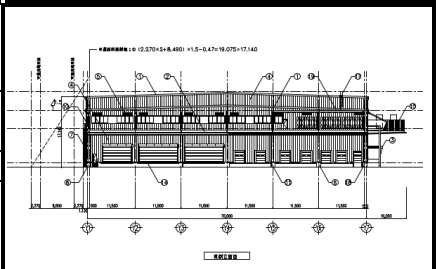
CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　I使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)埼玉県熊谷市問屋町物流施設計画	階数	地上2F
建設地	埼玉県熊谷市問屋町2丁目1800番17外	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	210 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月　予定	評価の実施日	2025年2月11日
敷地面積	16,127 ㎡	作成者	山田　裕一
建築面積	9,881 ㎡	確認日	2025年4月4日
延床面積	18,980 ㎡	確認者	井ノ瀬広和

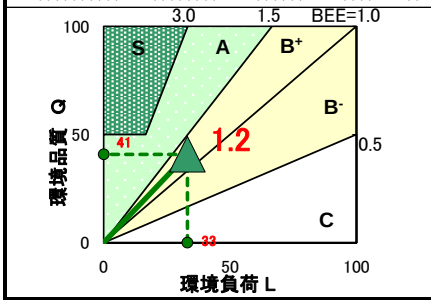
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.2

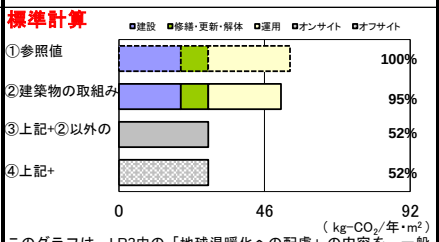
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

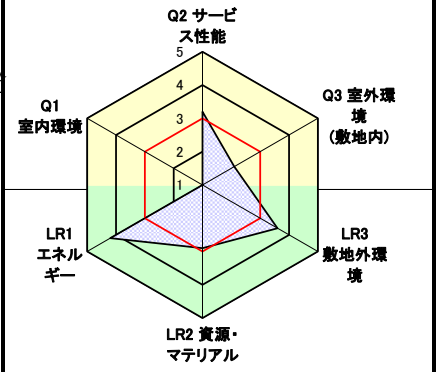
30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

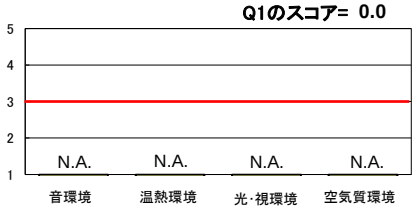
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



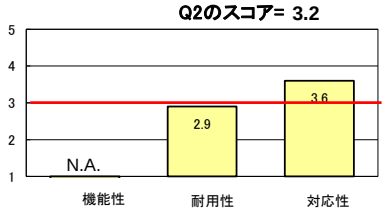
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.6

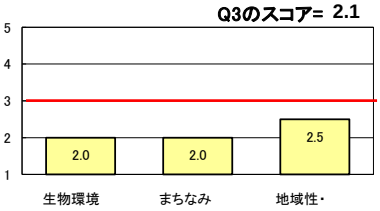
Q1 室内環境　Q1のスコア= 0.0



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.2

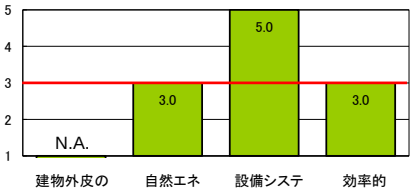


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.1

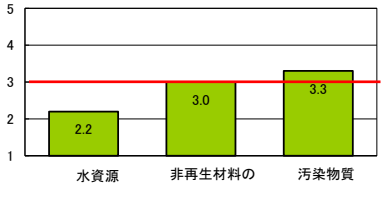


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.6

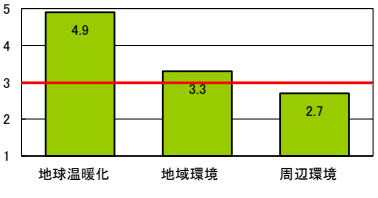
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.2



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.9



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.6



3 設計上の配慮事項

総合
主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。
ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。

その他
特になし。

Q1 室内環境
評価対象外

Q2 サービス性能
ガルバリウムダクトを使用している。
階高:3.9m以上。

Q3 室外環境（敷地内）
特になし。

LR1 エネルギー
BEIm=0.0

LR2 資源・マテリアル
ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。

LR3 敷地外環境
燃焼機器を使用していない。ライフサイクルCO2排出率が52%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県　重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン	CASBEE埼玉県2016年版

1　建物概要

建物名称	(仮称)埼玉県熊谷市問屋町物流	BEE	1.2	BEEランク	★★★

2　重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア　緑の保全・創出のスコア

4.9 ＋ 2.6 ＝ 7.5



重点項目の各スコアーの合計点

がんばろう	良い	非常によい	すばらしい
6.0未満	6.0以上	6.8以上	8.0以上
			

3　重点項目についての環境配慮概要

（1）ライフサイクルCO2の削減　　スコア平均　4.9

＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞

LR3　敷地外環境対策	1．地球温暖化への配慮	スコア	4.9

ライフサイクルCO2排出率が52%。

（2）緑の保全・創出　　スコア平均　2.6

＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞

Q3　室外環境（敷地内）	1．生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3　室外環境（敷地内）	3．2　敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3　敷地外環境	2．2　温熱環境悪化の改善	スコア	3.0

特になし。

：入力欄